

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室(人権教育研究室)
大項目	2 人権教育・人権問題(研究科) 《全学的な視点》	
中項目		
小項目	2.0.1 人権教育は、本学の使命・目的に照らして適切に行っているか。	
要素	(KG1) 方針、実施内容 (KG2) 人権意識の涵養とその現状	
小項目	2.0.2 人権問題への対応を適切に行っているか。	
要素	(KG1) ハラスメント防止のための措置の適切性 (KG2) セクシャル・ハラスメント防止への対応 (KG3) アカデミック・ハラスメント防止への対応 (KG4) その他ハラスメント防止への対応 (KG5) 人権侵害の防止とその対応	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. ミッションステートメントにふさわしい新たな人権教育の基本方針を明確化する。	→ 新たな人権教育の基本方針の明確化を目指して、学長室と人権教育研究室との定例検討会を開催する。	D	D	D	D	A
2. 新たな人権教育の基本方針の検討を踏まえて、人権に関する意識を涵養する教育を実践する。	→ 人権問題講演会や研究会をフィルムセッション、写真展、トークカーと聴衆との双方向的なトークセッションといった学生に親しみやすい形式で行うようにするとともに、時代の流れに対応した新しい人権教育科目を拡充する。	B	A	A	A	A
3. 学内において人権教育を担う教職員の育成をふまえた人権文化をはぐくむ環境を整備する。	→ 学生(特に新入生)に対して、啓発パンフレットを配布し、人権教育科目の履修を督促する。教職員に対しては、大学主催の人権問題講演会への積極的な参加を奨励する。	B	B	B	B	B
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 「ミッションステートメント」にふさわしい新たな人権教育の基本方針の明確化を目指して、学長室と人権教育研究室とが協議を続け、2014年3月に「関西学院大学人権教育基本方針」を大学評議会で前学長名で発表した。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 「基本方針」の発表を受けて、2014年3月の人権教育科目担当者連絡会で人権教育研究室長より報告がなされ、また、人権教育研究室のホームページにその内容を掲載した。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か この「基本方針」に基づいて、今後の人権教育科目の拡充等について再検討を進めていきたい。</p> <p>その他</p>	☆
目標2	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 人権意識を涵養する教育を効果的に実践すべく、随時人権講演会や研究会等のプログラムを実施してきたが、その際、図書館エントランスホールでパネル展を開催するなどして、不特定多数の目に触れるように努めた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か このような取り組みの結果、多少の学生を啓発できたことがその後のアンケート結果等から明らかになった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、学生及び教職員が親しみやすい形での人権プログラムを計画・実施していくことができるよう努めていきたい。</p> <p>その他</p>	☆
目標3	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 新入生には毎年、「キャンパス・ハラスメント防止と対策」のパンフレットを配布するとともに、人権教育科目の履修を奨励してきており、教職員には人権問題講演会等、各種人権教育プログラムへの参加を呼び掛けている。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 様々な形での人権教育プログラムを展開していった結果、ここ数年、各種プログラムへの参加者総数は多少ではあるが増加傾向にある。一方で、関係部署の職員の参加が少なく、彼らに積極的な参加を促していくことが今後の課題である。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も学生及び教職員の人権意識を高めるべく、様々な取り組みを実践していくとともに、各種人権プログラムへの積極的な参加を呼び掛けていきたい。</p> <p>その他</p>	☆
備考			☆